

令和8年度
事業計画書
収支予算書

(令和8年4月1日)

令和 8 年度
事業計画書
(令和 8 年 4 月 1 日)

一般社団法人 日本ボランティアチェーン協会

令和8年度 事業計画案

自 令和8年4月 1日

至 令和9年3月31日

昭和41年（1966年）5月の協会設立認可から60年を迎える本年度は、単なる節目の年ではなく、次の10年を見据えた変革の起点と位置づけます。

60周年記念大会（6月4日開催予定）を通じて、以下4項目の目標を実現します。

過去60年の歩みの総括

日本の流通業界におけるVC（ボランティアチェーン）の役割と貢献を振り返り、記念誌「VCのあゆみとこれから」として記録化します。

ビジョンの共有

創立60周年を迎える本年度は、「労働供給制約対策」と「DX推進」を両輪とした事業構造改革を断行し、加盟店の生産性を大手企業水準に近づけることで、VC業界の持続的成長基盤を確立します。

会員企業間の深い相互理解と実践的協業

理事アンケートで明らかになった「業種間の理解不足」という本質的課題に対し、VC交流セミナーと協業研究会および他の研究会を通じて各業界の特性・課題を共有し、異業種連携による新たな価値創造を目指します。

実効性重視の教育体制への転換

リテイルマーケティングセミナーを対象者別（本部・加盟店）×テーマ別（労働供給制約・IT活用）の4セグメントに再編し、現場で即実践できる知識・スキルの習得を支援します。

1. DX研究会拡大と理事会・全体会の深化

理事会後の全体会をDX推進研究会として位置づけ、テーマを設定して各社の取り組みを共有し、実践的な議論を行います。

参加率目標：理事会80%、全体会70%（前年度実績維持）

第1回 理事会・全体会（DX研究会）

日 時：令和8年5月20日（水）

場 所：東京国際フォーラム及びオンライン

テーマ：SaaSの活用とシステムの刷新

第2回 理事会・全体会（DX研究会）

日 時：令和8年9月16日（水）

場 所：東京国際フォーラム及びオンライン

テーマ：加盟店受発注に関するDX推進

第3回 理事会・全体会（DX研究会）

日 時：令和8年12月2日（水）

場 所：東京国際フォーラム及びオンライン

テーマ：店頭データの活用

第4回 理事会・全体会（DX研究会）

日 時：令和9年3月17日（水）

場 所：東京国際フォーラム及びオンライン

テーマ：店頭データ・顧客データの活用

2. 60周年記念大会の開催と記念誌「VCのあゆみとこれから」の発行

令和8年6月4日（木）に、グランドニッコー台場におきまして創立60周年記念大会を開催し、併せて記念誌として「VCのあゆみとこれから」を発行し関係各所に配布します。

創立60周年記念大会

目標参加者：200名として通常年比115%を集客し、VCの広報を強化いたします。

第1部式典

- VC60年のあゆみスライド上映
- 会長挨拶「60年を迎えた感謝とこれから活動」
- 功労者表彰予定 経済産業大臣 表彰 西川 八一行 副会長
中小企業長官 表彰 平野 実 副会長
農水大臣官房総括審議官表彰 三吉 敏郎 前理事
協会会長 表彰
- 受賞者謝辞

第2部記念講演会

- 「行動経済学が変える中小小売の未来」
青森大学客員教授 竹林正樹氏

第3部祝賀懇親会

- 開会及び挨拶
- 来賓ご祝辞

創立60周年記念誌「VCのあゆみとこれから」

- 写真でみるVC60年のあゆみ
- 会長・副会長 挨拶
- 各チェーンのあゆみとこれから（将来ビジョン）
ボランティアチェーンの啓蒙活動のツールになる記念誌として作成します

3. 会員相互理解の為、交流セミナーの開催

日 時：令和8年4月15・16日
場 所：VISON（ヴィソン）三重県多気郡多気町
目 的：会員企業間の相互理解を深め、協業・連携の基盤を構築する為
テーマ：人手不足の現状と対策事例、生産性向上の取り組み、DX推進の現状と課題等
各会員企業の成功事例・失敗事例の共有

4. 教育研修事業リテイルマーケティングセミナーの再編

前年度実績：15回開催、参加者205人（1回あたり平均14人）。

加盟店構成：20%（目標40%に対し大幅未達）。

加盟店の生産性向上の為に、教育研修事業の充実が必要不可欠です。その為
理事アンケート並びに2月に開催された教育検討委員会のご意見を踏まえ開催いたします。

- 対象者別のカリキュラムによる目的の明確化

	労働供給制約対策	IT・SNS活用
加盟店向け	人材確保・定着・育成	デジタル化・SNS販促
本部職員向け	人材育成と組織づくり	DX推進・データ活用

- 開催時間の短縮による加盟店参加促進
特に加盟店向けカリキュラムに関しては1コマ1時間として
複数コマを開催することで内容の充実を計ります。
- アーカイブ配信の期間延長
配信期間延長することで、店内での共有や復習が容易に出来るようにします。
- 加盟店の参加数の拡大
加盟店の参加が必要不可欠です。その為、教育検討委員会にて、各会員委員中心に加盟店への呼びかけの徹底を計ります。セミナー実施後には実績に対する反省と次年度に向けた検討会を行います。
- 生成AIの活用による効率化
加盟店様の販促立案、マテリアル作成において、今や生成AIは欠かせない状況です。本部職員についても事務処理業務削減ではそのリテラシーは必要です。
そこで、それらのセミナーにおいては、生成AI「VC_Ai助」を活用できるようにいたします。
- 目標 参加者数：400人以上（前年度205人から倍増）
加盟店構成：40%以上（前年度20%から倍増）
1回あたり平均参加者数：27人以上（前年度14人から倍増）

5. 広報事業機関誌「VoluntaryChain」の活用

ビジョンに掲げた会員・加盟店の生産性向上に向け以下の企画を展開いたします。

➤ 新企画「こんな事やってみた！」シリーズ化

DX 研究会と連動して各会員企業の DX 推進事例、生産性向上施策の成功事例を紹介します。ビフォーアフター形式で効果を可視化し、加盟店生産性向上のモチベーションとします。

➤ 賛助会員からの提案紹介

労働供給制約対策、DX 推進に資する商品・サービスの紹介、導入事例、費用対効果の明示を行い生産性向上の助けとしたい。

6. 目標に向けた各研究会の開催

今年度の目標達成に向け、DX 研究会はもとより、以下の研究会もそれぞれ活動を推進します。

➤ 補助金研究会

DX 推進を行う為は、投資が不可欠であります。そこでタイムリーな補助金、活用事例、申請書作成のポイント、採択率向上のノウハウを共有します。又研究会メンバー以外の会員にも参加を促していきます。

➤ 協業研究会

会員間の実践的な協業可能性の研究を探索し、異業種連携のシナジー効果を創出したいと考えます。又、その連携の輪が、加盟店個々の地域を支えるローカルプラットフォームとなる事を目指します。

➤ 物流研究会

サプライチェーンの中で、物流コストは大きな比重を占め流通業の生産性向上に直結している課題です。又、物流の2026年問題として荷主としての物流効率化義務とドライバー不足によって受荷主である加盟店へも変革が求められてきます。知恵を出し合い業務効率化、共同配送等を研究していきます。

7. 協会経営基盤の安定

上記事業計画を進める為にも、協会自体の経営基盤の安定が求められます。然しながら昨年度は、入退職や休職が相次ぎ安定した業務は出来ませんでした。結果、会員様にはご迷惑をお掛けすることになり、事業計画の達成も不十分なものになったことは否めません。

又、収入源としてここ数年、協会経営を支えていた認可事業である酒類販売管理者研修事業は受講料昨対85%と大きく減少し、結果収支に大きく影響しました。

そこで以下の対応により事業計画に影響が出ないように努めます。

➤ 事務局人員体制の安定・定着化

課題 事務局の人員不足、人材の定着率向上

対策 労働環境の改善（業務の効率化、新導入システムのアジャイル開発）、人材育成プログラムの導入（OJT、積極的な外部研修の活用）、モチベーション向上施策（評価制度の見直し、福利厚生充実）

➤ 酒類販売管理者研修の安定運用

目標 前年度比100%以上の受講者数確保

対策 広報活動の強化（Web 広告、HP の運用見直し）、受講者の利便性向上（拠点オンライン研修の拡充、日程の早期公表・受付）、会員企業への協力依頼（加盟店への案内強化）

8. 行事スケジュール（上記行事以外）

5月11日（月）監事会

協会事務所

6月4日（木）総会・創立60周年記念大会 グランドニッコー東京 台場

7月15日（水）

サイバーセキュリティセミナー オンライン開催

1月18日（月）新春賀詞交歓会

東京ドームホテル

一般社団法人日本ボランタリーチェーン協会 令和8年度 主要会議・セミナー日程(案)

月	日	曜日	時間	総会・賀詞交歓会 理事会・常務会	会場等	研究会	その他セミナー等
4	15	水	13:15	交流セミナー	VISON(三重県多気町)		
	16	木	14:45				
5	11	月	11:00	監事会	協会会議室		
	20	水	13:00	第1回理事会／決算／全体会 (決算・総会付議)	国際フォーラム	DX	
6	4	木	13:00	第61回通常総会	グランドニッコー台場		
			14:30	60周年記念大会 (記念式典/記念講演/懇親会)			
7	15	水	14:00		協会事務所&オンライン		サイバーセキュリティ セミナー
8							
9	16	水	13:00	第2回理事会／全体会	国際フォーラム	DX	 マーケティング セミナー (別途確認)
10							
11							
12	2	水	13:00	第3回理事会／全体会	国際フォーラム	DX	
1	18	月	14:00	新春賀詞交歓会 (記念講演/懇親会)	東京ドームホテル		
2							
3	17	水	13:00	第4回理事会／全体会	国際フォーラム	DX	
				(次年度事業計画)			

令和8年度

収 支 予 算 書

(令和8年4月1日)

一般社団法人 日本ボランティアチェーン協会

正味財産増減計算書

令和8年4月1日から 令和9年3月31日まで

(単位：円)

科目	令和7年度実績	令和8年度予算
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
① 受取入会金	180,000	150,000
受取入会金	180,000	150,000
② 受取会費	33,996,000	35,388,000
正会員受取会費	13,237,000	13,238,000
賛助会員受取会費	17,360,000	18,090,000
部会等受取会費	3,399,000	4,060,000
③ 事業収益	56,129,849	58,912,000
広報事業収益	5,214,835	5,762,000
教育研修事業収益	902,000	1,320,000
酒研修(許認可)事業収益	50,013,014	51,830,000
④ 雑収益	173,267	48,000
受取利息	124,167	0
雑収益	49,100	48,000
経常収益計	90,479,116	94,498,000
(2) 経常費用		
① 事業費	63,051,760	63,772,000
広報事業費	10,764,216	13,689,000
人件費	3,680,531	4,827,000
諸経費	7,083,685	8,862,000
教育研修事業費	6,335,478	6,710,000
人件費	2,879,894	2,652,000
諸経費	3,455,584	4,058,000
酒類販売管理事業費	45,952,066	43,373,000
人件費	7,656,216	8,607,000
諸経費	38,295,850	34,766,000
(内 減価償却費)	(4,713,500)	(2,196,000)

科目	令和6年度実績	令和8年度予算
② 管理費	25,152,472	29,943,000
人件費	7,338,913	6,657,000
役員報酬	4,200,000	2,100,000
給料手当	1,613,351	2,205,000
雑給	0	1,545,000
退職給付費用	0	0
法定福利費	1,525,562	807,000
諸経費	17,813,559	23,286,000
会場費	2,012,798	3,140,000
会議費	3,839,207	6,175,000
旅費交通費	709,895	1,250,000
通信運搬費	420,923	340,000
消耗品費	280,305	665,000
新聞図書費	96,360	60,000
光熱水料費	361,395	420,000
賃借料	2,771,624	2,736,000
報酬手数料	1,386,000	1,388,000
諸謝金	290,000	770,000
福利厚生費	193,437	240,000
中小企業退職金共済	120,000	20,000
租税公課	400,913	420,000
支払手数料	1,757,293	2,650,000
リース料	1,162,305	1,164,000
研修費	0	0
保守料	441,528	468,000
諸会費	1,191,375	1,200,000
減価償却費	0	0
交際費	12,430	0
雑費	365,771	180,000
退職給付引当金繰入額	0	0
役員退職慰労金引当金繰入額	350,000	350,000
経常費用計	88,554,232	94,065,000
当期経常増減額	1,924,884	433,000
固定資産受贈益	7,258	0
退職給与引当金取崩額	7,258	0
税引前一般正味財産増減額	1,932,142	433,000
一般正味財産増減額	1,932,142	433,000
一般正味財産期首残高	52,676,083	54,608,225
一般正味財産期末残高	54,608,225	55,041,225
Ⅱ 正味財産期末残高		
正味財産期末残高	54,608,225	55,041,225